

「打ち言葉」に関する授業実践

山梨県立山梨高等学校 国語科

山梨県立山梨高等学校

○所在地：山梨県山梨市上神内川194

○課程：全日制・普通科

○校訓：至誠無息

○学級数：

1・2年 4クラス（英理総合コース1クラス）

3年 5クラス（ ” ” ）

全生徒数446名

はじめに

- 1 授業の目的**
- 2 対象生徒・授業展開**
- 3 授業実践**
- 4 考察**
- 5 まとめ**

1 授業の目的

《「打ち言葉」の現状》

携帯メールやSNS上の私的場面で用いられる「打ち言葉」は、従来の日本語表記と異なるものが多く、その使用率は世代差が大きい。

《実践の動機》

生徒が書く授業の感想や学級日誌などに「打ち言葉」が散見されており、高校生が日常的に用いる言葉の実態を知る必要性を感じた。

1 授業の目的

「打ち言葉」の特徴を理解した上で、社会生活の中で使われるメールの言葉遣いとの違いを考え、相手や場面、メディアによって変わる有効な伝え方について考えるきっかけを作る。

2 対象生徒・授業展開

対象：2学年生徒（145名）

授業展開：

○事前アンケート（実態調査）

○授業（第1時～第4時）

- ①「打ち言葉」の特徴への理解・教員へのメール作成**
- ②メールの評価・注意事項確認**
- ③校外の方へのメール作成**
- ④メールの評価・振り返り**

3 授業実践（事前アンケート）

〈設問1〉

「あした学園祭の練習しまーす。みんな7：30に集合でいい？」に対して回答してください。

→り、りよ、おけ、おけおけ 等

〈設問2〉

LINEの会話を、自分から終わらせることに抵抗がありますか？（相手に申し訳ないと思ってしまうか？）

→「たまにある」55.0%、「よくある」10.6%

3 授業実践（事前アンケート）

〈設問3〉

あなたがSNSでよく使う、もしくは見かけることばには、どんなものがありますか？

→あーね、www、ぴえん、おつ、やばい 等

〈設問4〉

SNSでの会話で困るのはどんなときですか？

→「うまく伝わらない（勘違いや誤解）」

「終わるタイミングが分からない」

「返信の仕方（長文・一言の場合）」等

3 授業実践（事前アンケート）

〈設問5〉

目上の方や、あまり親しくない相手（教員をのぞく社会人）とコミュニケーションをとる機会がありますか？

→ 「ない」 33.8%

「ある（地域の方など）」 20.5%

「ある（指導者など）」 25.8%

「ある（その他）」 14.6%

考察（事前アンケートより）

「打ち言葉」は**同世代とのコミュニケーション**の中で使用されている。

相手の文章量に合わせて**単語**や**短文**で返信する傾向が強く、そのために、伝えたいことが**正確に伝わらない**、会話を**終わらせるタイミングがつかめない**といった悩みを抱えている。

3 授業実践（第1時）

③条件に従って、学年主任宛のメールを作成。

〈条件〉 ※資料①No.3

山梨高校2年「A」として
学年主任の先生から出された
生物の夏季課題の提出期日を
メールで質問する。



第2学年現代文B 7月実施「打ち言葉」第1時

2年()組()番 氏名()

①Aさんは、山梨高校の2年生です。奥山幸司の先生から生物の夏季課題が出ましたが、期日がわかりません。そこで、次のようにメールを送信しました。

課題の提出っていつですか
教えてください☺

iPhoneより送信

よりよいメールに
訂正してみよう!

②このメールの問題点は何だと思いますか？箇条書きで挙げてみましょう。

った人は、これが「校長先生」宛てだったらどんなメールにするか考えよう。

生徒のメール

課題の提出日はいつだったでしょうか。教えてもらえませんか。 2年1組 山梨A

突然失礼いたします。私は2年1組30番の山梨Aでございます。お忙しい所大変誠に恐縮でございますが、夏期課題の提出日を教えていただけませんか。

B先生、おはようございます。2年1組30番 山梨Aです。生物の夏期課題の期日を確認したいので、教えて頂きたいです。お忙しいところすみませんが、よろしくお願い致します。

3 授業実践（第2時）

【内容】

- ①前時を振り返り、相手や場面にふさわしい言葉でわかりやすく伝える書き方を確認する。
- ②メールの注意事項を確認する。

「先生へのメール」評価規準

評価者：「現代文B」授業担当者

配点	観点 ①	②	③	④	⑤
5点	宛名・差出人の記載がある	教えてほしいことが伝わる	言葉遣いが正確である	不手際を詫げる言葉	相手への気遣い
4点					
3点					
2点					
1点	教えてほしいことが伝わる				
0点	未回答				

3 授業実践（第3時）

① 校外の方へのメールを作成。

〈設定〉 ※資料①No.4

- ・ インターンシップの依頼メールを企業担当者宛に送る。
- ・ 企業：地域密着型介護福祉施設
- ・ 希望日：令和3年7月22日～23日
- ・ 理由：企業のに興味を持った理由、自分の家族や社会の状況を織り交ぜて自分で考える。

第2学年 「打ち言葉」 第2・3時

2年()組 ()番 氏名()

次の設定で、「インターンシップをさせてほしい」という内容のメールを企業の担当者様に向けて作成しましょう。

① 企業研究し、相手の特長をつかむ

② 意気込み

③ 適切な表現

④ 気遣い

などに気を付けて、よりよい内容を組み立てましょう。

① 設定の確認

あなた…山梨高校2年生

希望する企業…「地域密着型介護福祉施設 C」

担当者様…D 様

希望日…今年の7月22日(木)～23日(金) 2日間

希望する理由…現代社会・自分の家族・企業の特徴などを織り交ぜて考えましょう

② 伝わる書き方・適した表現を考える

・ どうすれば相手にわかりやすいか？

・ どんな文章に組み立てれば、より自分の述べたいことが伝わるか？

・ 社会人の方とのメールに適した表現はどんなもの？

③ メールのマナーの確認

③までできたら、送信してみましょう！

No.4

生徒のメール①

地域密着型介護福祉施設C

D様

突然のメール失礼します。

山梨高校二年二組〇番の山田梨貴です。この度は地域密着型介護福祉施設Cにインターンシップを受けさせていただき、連絡をしました。

現代、少子高齢化になり高齢者が増え、働く人が減っているのも、私たちの世代が支えていかなければいけません。なので、私たちが地域を安心してどのようにして暮らせるかを学びたいと思い、応募いたしました。

山梨高校二年二組〇番山田梨貴

生徒のメール②

地域密着型介護福祉施設C

D様

突然のメール失礼致します。

私は山梨高校2年3組〇番の山梨太郎です。

今回インターンシップをさせて頂きたくメールを送らせて頂きました。

希望した理由としては、身近な所に介護を必要としている人がおり介護とはどういうものなのかということを実際に体験してみたいと思い今回希望させて頂きました。

インターンシップを希望する日にちですが、7月22日木曜日、7月23日金曜日の2日間伺わせて頂きたいと考えているのですがご都合はよろしいでしょうか。

ご都合のことも含めまして1度このメールについて返信していただけると幸いです。

お忙しいところ恐れ入りますがよろしくお願い致します。

山梨高校 2年3組〇番 山梨太郎

3 授業実践（第4時）

【内容】

- ① 評価されたメールの振り返り
- ② 高評価のメールと自分のメールの比較

項目	評価規準
① 書き出し	宛先として、企業名・氏名が明示されている。
	初めてのメールであることが明示されている。
	差出人名を記載している。
② 結び	依頼のお願いが記載されている
	差出人名を記載している
③ 依頼内容	インターンシップの依頼が明示されている
	期日が正確に記載されている
④ 志望動機	内容が明確である
	相手に伝わる表現である
⑤ 立組 てみ	段落構成が的確である

生徒のメール（高評価のメール）

地域密着型介護福祉施設C

D様

初めてメールをお送りいたします。

山梨高校2年生の山田梨子です。

この度は地域密着型介護福祉施設Cのインターンシップに参加させていただきたく、メールをいたしました。

私は前から福祉活動に興味があり、今回はその活動について更に探究していきたいと思いましたのでお送りいたしました。

私の希望日は7月22日(木)～23(金)の2日間なのですが、こちらの日程でも大丈夫でしょうか。ご確認の方をよろしく申し上げます。

時間がある時に返事をいただけたら幸いです。

是非よろしくお願いいいたします。

山梨高校2年 山田梨子

生徒の振り返り（抜粋）

「自分の作成したメールと比べてよいと感じた点」

- ・ インターンシップに参加したい理由、この施設を選んだ理由が**明確かつ簡潔**にまとめられている。
- ・ インターンシップの意義や目的に触れた上で依頼している。
- ・ **言葉遣いが丁寧で、相手への気遣い**が感じられる。
- ・ **敬語の使い方が適切**である。
- ・ **読みやすい構成**になっている。

「自分のメールの改善すべき点」

- ・ 希望する理由が**曖昧**で、相手に伝わりにくい。
- ・ 期日などの必要な情報を**正確**に伝えていない。
- ・ 初めて連絡を取る相手に対して、**丁寧な言葉遣い**ができていない。
- ・ 敬語の使い方が**間違**っている。

授業を通しての感想①

〈設問 1〉 「ことば」に関する授業を通して、どのように意識が変わりましたか？

- ・ **正しい言葉遣い**をしようとする意識が高まった。
- ・ 使う言葉をどう組み合わせれば、**相手に失礼のない言い方**になるのかを細かく考えなければいけないと学んだ。
- ・ LINEでは打ってすぐ送信していたが、**一度読み直して漢字**や意味、送信先をしっかりと**確認する**ようになった。
- ・ 時と場合に応じて**言葉を使い分ける必要**があることを学んだ。
- ・ **意味を知らずに省略表現を使っていた**ことを知り、調べるようになった。

授業を通しての感想②

〈設問 2〉 今後、社会に出るにあたり、言葉遣いについて
どのようなことを大切にしたいですか？

- ・ 自分が伝えたい内容を相手に**わかりやすい表現**で伝える。
- ・ 相手を不快にさせたり、誤解されたりしないように**考えて言葉を選ぶ**。
- ・ 普段から**丁寧な言葉遣い、正しい言葉遣い**を心がける。
- ・ 目上の人に対しては**正しい敬語**を使う。
- ・ 文章を作ったりメールを送ったりする時は**誤字がないか必ず見直し**をする。

4 考察（生徒の実態）

○SNS上でも普段の会話のようなテンポ感を重視

○長文や堅苦しい表現は「伝わりにくい」と感じる

○コミュニケーションを取る上での相手への配慮や言葉の使い分けの必要性は理解しているが、正しい言葉への理解が不足している



「話し言葉」 「書き言葉」 「打ち言葉」 の境界が曖昧

5 まとめ（今後の取り組み）

- 自らの言語コミュニケーションを振り返り、客観的に評価する機会や相互に評価し合う機会を継続的に設けることで、生徒の言語に対する感覚を磨いていく。
- 「現代の国語」において、実社会で必要となる語句や表現方法について学び、社会の中での言語コミュニケーションに対する理解を深めていく。